

# わが社の働き方改革・ 人材育成の取り組み

鈴木管工業株式会社

代表取締役 鈴木 啓泰

# 1. 会社概要・沿革

## (1) 会社概要



①昭和11年創業と県内の建築設備業者として草分け的な存在。石川県、金沢市で給排水衛生設備(水回り)、空気調和設備(エアコン)の公共工事を中心に設計、施工、施工管理を行っています。

②最近では地域の環境問題や省エネルギーという観点から、建物の機能性を維持・向上させながら、空調機器等により発生するCO<sub>2</sub>を出来る限り抑制する高効率機器や省エネルギーシステムの導入などの提案を民間工事として行っています。

上手に提案することで、国や県から補助金もでる場合があります。

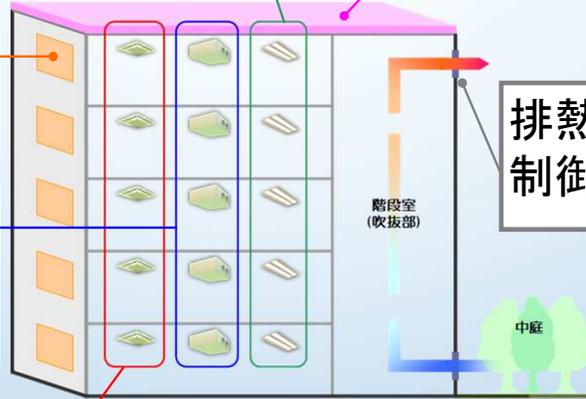
## <省エネ改修内容>

高効率照明器具：基準階基本照明  
82台に対し、78台を改修。

屋根断熱改修：ノンフロン断熱材  
(30mm)を全面改修。

窓の二重化：空調室内の窓  
44ヶ所に対し、37ヶ所を改修。

全熱交換器：全数7台をナイトページ機能  
付きに改修し、自然エネルギーを利用。  
Web管理対応。



排熱ファン：階段室内温度により自動  
制御し、夏季の空調負荷を低減する。

高効率空調機：平均COPを2.4から4.4に  
改善し、オイルレス化。Web対応集中コ  
ントローラーで省エネ管理。

自社ビルをモデル建物として、お客様に  
紹介し、省エネ事務所の普及を目指す。

図1. 新館省エネルギーシステム概要図

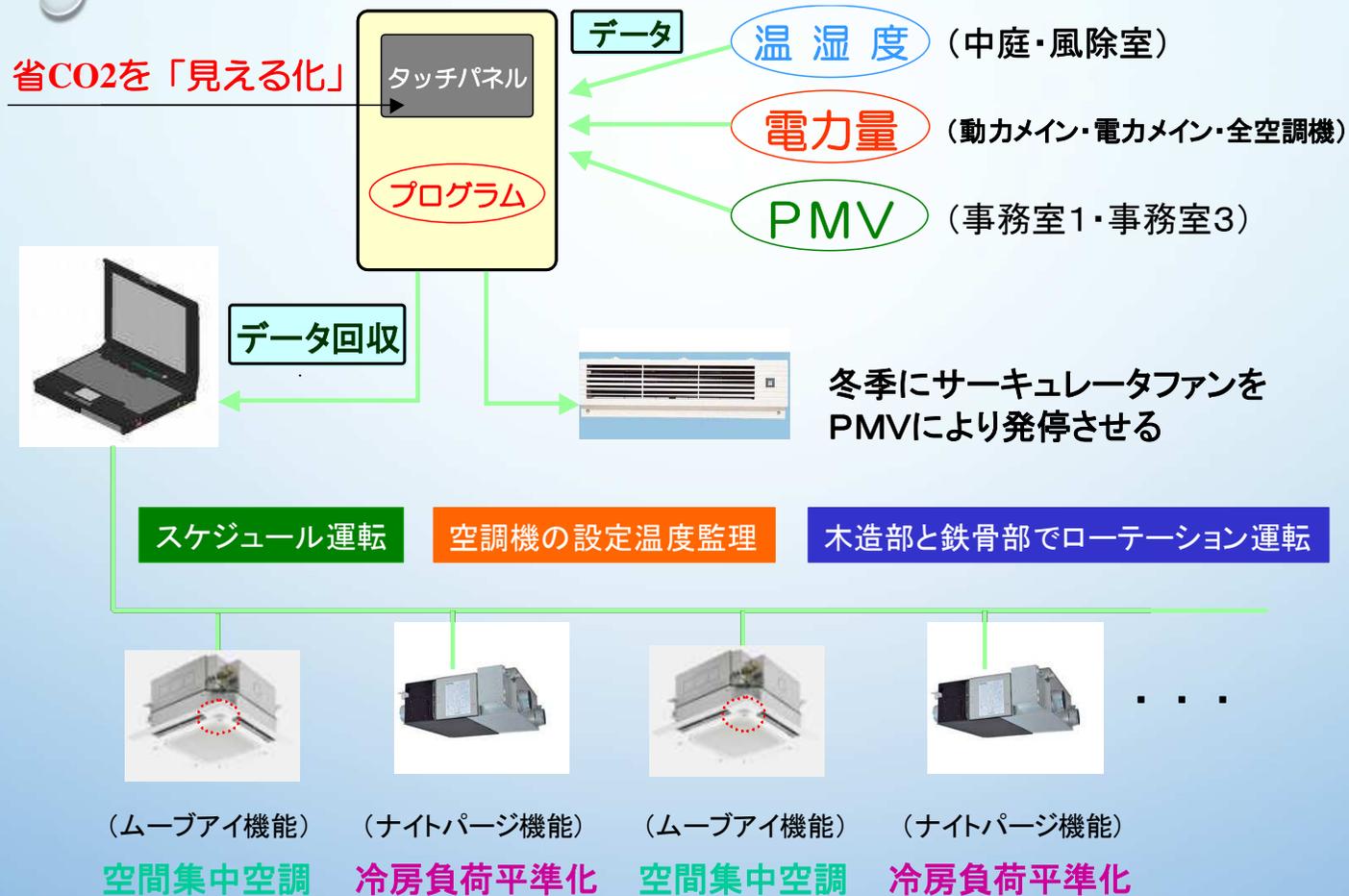


図2. Web対応集中コントローラー概要図

## (2) 沿革(87年目)

昭和11年03月	鈴木工務店を創立
昭和24年10月	建築業登録
昭和35年07月	株式組織とし鈴木管工業（株）を設立
平成04年03月	（株）スズキケンショウ設立
平成04年12月	新館グリーンビル 竣工
平成14年09月	（株）スズキエンタープライズ設立
平成16年01月	ISO9001：2000 認証取得
平成17年04月	省エネルギー事業を開始
平成17年05月	白山営業所を設立
平成19年12月	ISO14001：2004 認証取得
平成28年11月	一級建築士事務所 登録
平成29年12月	ISO9001・14001：2015 認証取得
令和2年10月	LCEP認証登録(省エネ診断)：石川県で唯一
令和3年08月	太陽光発電9.9kW、電気自動車・V2Hを導入

## 2. 取組みの目的

社員に長く働いてもらうための「働きやすさ」や「仕事と家庭の両立」は重要なテーマです。

高齢化や就業環境など、従業員の幸せを真剣に考える取組みを実施しています。

福利厚生を含む労働条件を整備し、将来を見据えた事業展開を目指しています。**(建設業は大変な人手不足)**

## 3. 働き方改革

### (1) 建設業の時間外労働の上限規制が4月1日より適用となる

(現在)  
法律上は、残業時間の上限がない。



法律で残業時間の上限を定め、  
下記を超える残業が出来なくなる。

- ①時間外労働時間が年720時間以内
- ②時間外労働時間と休日労働時間の合計が月100時間未満
- ③時間外労働時間と休日労働時間の合計について「2ヶ月平均」「3ヶ月平均」「4ヶ月平均」「5ヶ月平均」「6ヶ月平均」すべてが80時間以内
- ④時間外労働時間が月45時間を超えることができるのは年6ヶ月が限度

## (2) わが社の取組み

### ① 休日日数の増加

2021年	100日
2022年	102日
2023年	104日
2024年	106日（予定）

### ② 請負工事配置予定の工夫

- 1つの工事を2名体制にして、工期をずらして2つの工事を担当させる。
- 休日を取得しやすい体制づくり。(2名体制)
- 所定外労働時間の平準化。
- ベテラン社員と若手社員をペア組することにより人材教育も実施できる。

### ③ 最新工具類及びシステムの導入

- HILTI（工具）の導入。【工具のIoT化】
- 3DCADを導入。【施工の効率化】

#### ④1 tトラックの導入

- 免許制度の変更に伴い、2 tトラックが運転できない新卒及び若手社員の運転免許でも運転できる。

#### ⑤資格取得に係る費用負担

- 資格手当に係る経費(受験費用等)を会社負担し、資格取得を推進している。

#### ⑥住宅補助

- 実家が遠隔地にあり、通勤が困難な独身者に対し住宅補助を行っている。

#### ⑦採用活動の強化

- 文理及び新卒、中途問わず採用目標人数を増やし、人員を増やして作業の平準化を図る。

## 4. 人材育成

### ①各種研修の実施

- 新入社員研修 社外研修（2日間）  
社内研修（2日間）…社長と各部門責任者による講義。  
（社会人としてのマナー、会社のルール、仕事の基本等を幅広く）

### ②資格取得研修

- 管工事施工管理技士取得に向けての勉強会を毎年実施。  
（過去問題の不明点と出題予測アドバイス等）

### ③工務系新入社員教育計画

- 1・2年目…書類中心の施工管理。工期に余裕のある現場の副担当を経験。
- 3・4年目…工事規模の小さい現場の現場代理人を経験。
- 5年日以降…工事規模の大きい現場で監理技術者の指導の下、現場代理人を経験。

## 5. 今後の課題

### ①従業員の離職防止対策

- 資格手当の支給。  
(現在は合格祝い金として支給しているが、毎月定額支給へ。)
- 年間休日数を増やす。→ **建設工事に携わる施主・他業者との協調。**  
(毎年有給日数を2日間増やし、緩やかに業務改善できるようにする。)
- 奨学金返済援助  
(3年、5年、10年目に給与とは別に支給する。中途退職時には返金する。)

### ②過重労働防止対策

- ノー残業Dayの設定 (週1日、全従業員が定時で退勤できる日を設定する。)
- リフレッシュ休暇の導入 (年5日取得義務の有給休暇を消化するため。)

### ③外国人技能実習制度による採用

ご清聴ありがとうございました。